

東京れんめい

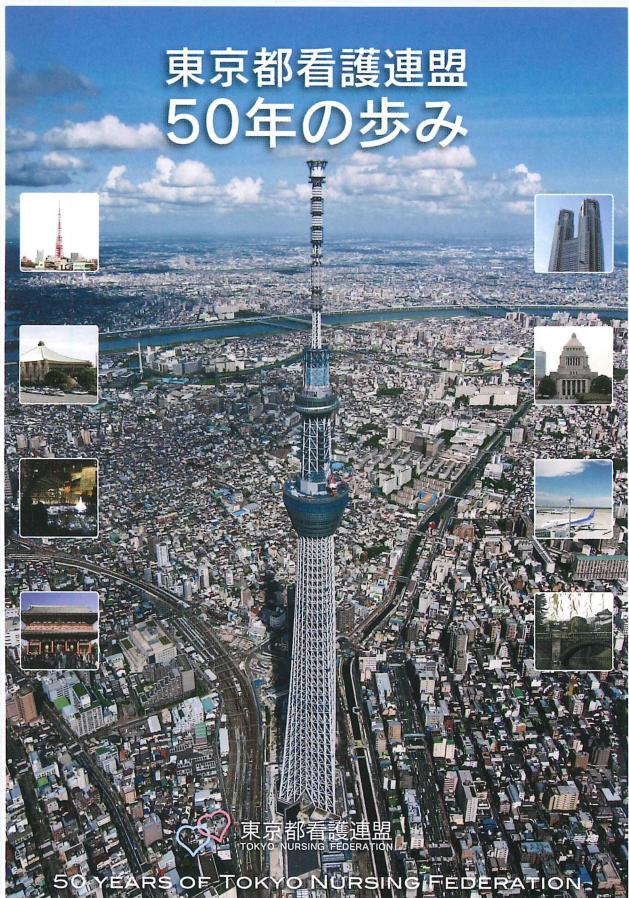


編集・発行/東京都看護連盟 発行責任者/長尾眞澄
〒150-0001東京都渋谷区神宮前一丁目10番34号原宿コープ別館511号室
電話03-3796-0270 FAX03-3796-0271 E-mail:shiburen@g-a3.so-net.ne.jp

第25号



美しい東京の街を守るために、何がおころうとも、今何をなすべきか見極め、良いタイミングでベストな行動ができるよう、いつも心がけていたい



東京都看護連盟 50年の歩み



東京都看護連盟
会長 長尾 真澄

災害発生直後から、
待つたなしで住民の命
を守った看護職の皆様
には社会から高い評価
を頂いております。

東京でも多くの施設
が被災地の方を引き受け、
現地へも応援に出ました。
心から敬意と感謝を申し上げます。

東京都看護連盟
会長 長尾 真澄

でどうござります。
今年も東北の復興と再生を願って歩みたい
と思います。

全国連盟会長会で、
被災県の宮城、岩手、福島の会長さんから丁寧なお礼、感謝のお言葉を頂きました。

会で協議し、看護組織代表として「石田まさひろ」さんを内定しました。今年6月の日本看護連盟総会に提案されます。

石田さんは東京都看護協会の講師もつとめており日本看護連盟の幹事長として高階選挙に勝利に導かれる等経験もあり、今の看護界に最も適した人だと思います。

来年の参議院選挙の候補者擁立については、院議員とあべ俊子衆議院議員は国会で国難に立ち向かい力強く活躍されています。

今年の1月26・27日に全国看護連盟会長

昨年の暮れ皆様のご協力で「東京都看護連盟の50年の歩み」を発刊致しました。魅力ある看護の未来創りに若い会員と男性看護職のエネルギーが欠かせません。皆様、楽しく共に連盟活動を進め、輝かしい歴史の歩みを継続致しましょう。

「ベッドサイドから政治を変える」活動をして、生きがいのある、働き続けられる職場作りには、政治の力が必要です。

東京都看護協会は、平成24年4月1日に公益社団法人として発足することとなりました。今後更に、保健・医療・福祉の担い手としての看護職の資質の向上を図り、都民のQOLの向上のため貢献できる活動を推進したいと思います。東京都看護協会の活動を支援する政治団体としての東京都看護連盟の更なる躍進を期待しております。



東京都看護協会
会長 嶋森 好子

「東京れんめい」25号に寄せて



日本看護連盟会長
清水 嘉与子

明けましておめでとうございます。昨年末、宮城県の仮設住宅で訪問看護師の活躍ぶりを見ました。どこの仮設でも日本訪問看護振興財団のマーク入りの赤いトランサーを着た看護師が住民の皆さんとの生活に溶け込んで、頼りにされていました。この事業の発端は宮城県看護連盟の活躍の中から生まれたものです。震災の傷跡はまだまだ癒えませんが、看護職の

存在感が大きいことを実感しました。世界に先駆けて長寿社会を実現しようとしているわが国で、人々が少しでも安心安全の保健医療サービスを享受するためには看護職の活躍が大きく期待されます。そんな政策を実現するために、日本看護連盟は引き続き国政の場へ看護の代表を送り続けます。東京都看護連盟の皆様の一層のご活躍を願っております。

「東京れんめい」25号に寄せて



衆議院議員
あべ 俊子

東京都看護連盟の皆様、新年あけましておめでとうございます。いつも温かいご支援を賜り、さらに昨秋のあべ俊子後援会の拡大活動にもご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

昨年は未曾有の大震災という試練の中、大変な国難の一年となりました。新しい年を迎えるにあたり、この一年、この国が復興への道のりを一歩ずつ着実に歩

んでいけるよう、国政の場で精一杯努めてまいる決意をあらたにしています。

そして看護職の皆さんにも現場が良い方に変わったと少しでも実感していただけるよう、今年も変わらず精一杯頑張ってまいります。どうか本年も、皆様のお声をお聞かせ頂き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

「東京れんめい」25号に寄せて



参議院議員
たかがい恵美子

1月24日に第180回通常国会が開会いたしました。本年は診療報酬と介護報酬の同時改定、政府における社会保障と税の一体改革の実現を求める動きなどがあり、今国会は今後のわが国の社会保障制度の行方が大きな論点の一つとなることが想定されます。

私は、これまで国会の代表質問や委員会審議を通じて、人口減少が進みゆくわが国社会をどのよ

うに維持していくのか、どのような社会保障を構築していくのか、今の段階で方針を定めておく必要があることを訴えてまいりました。

社会保障の担い手として、看護職の皆様が活き活きと活躍していくことができるよう、将来をしっかりと見据えて活動をしてまいります。これからも引き続きご指導ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



人を大切にする社会、働くことを楽しいと思える社会、明日に希望が持てる社会づくり

Vol.23-9 平成 23 年 11 月 21 日発行

やりがい、いきがい、たかがい！～成熟社会を創る看護力～

たかがい恵美子のマンスリー活動報告

参議院本会議にて代表質問（11月2日）

11月2日、野田内閣総理大臣の所信表明演説等に対する代表質問に立ち、総理の政治姿勢を問いただすとともに、人口政策、復興政策の課題に関して、現政権にしっかりと認識頂き、遅きに失すことなく取組みを進めてほしいとの思いを込めて、質問しました。

【総理の政治姿勢】

東日本大震災は、国民に深い傷を与え、社会に説明しがたい動搖と変化をもたらしていると考えられます。自殺、児童虐待など、命の危機を受け止めるとともに、どのような方針で臨むのか質問しました。

【人口政策】

わが国の総人口は今後7割程度まで減少し、中でも生産年齢の減少がすすむということを念頭に置いた、新たな‘成熟社会づくり’を、今この時期に推し進めなければなりません。総理が人口問題をどう捉え、どう対応するのか表明するよう求めました。

その上で、地域の子育て拠点の強化・拡充、母体の保護と女性の健康づくり、出産を巡る環境改善、最期まで穏やかに過ごせる環境整備の必要性を提起し、ライフステージを通じた必要な施策の取組みへの決意を求めました。

また、7月に政府において「税と社会保障の一体改革案」がとりまとめられましたが、増税の議論が先行していることについて、まずは新たな社会保障体系の具体像を示すべきであると聞いたしました。

【復興政策】

現政権の復興政策が遅すぎ、未だに被災者の生活再建の見通しが立っていないことは憂慮すべき事態です。復興予算を早期に執行し、実効性の高い施策を実現すべきです。第3次補正予算の年度内執行を確約するよう求めました。

また、復興庁及び被災自治体の職員の確保の見通し及びその対策について、被災地の小規模事業の支援について、社会保障の担い手の確保とその労働環境の改善に対する方針について質問しました。



代表質問の模様は「たかがい恵美子チャンネル」よりご覧になれます。

<http://www.youtube.com/user/TakagaiEmiko>

「かあさんの家」視察（宮崎県）

11月3日、宮崎県にある「かあさんの家」2か所（曾師及び月見が丘）を視察させていただきました。

「かあさんの家」は、最期まで住み慣れた地域、家に近い環境で暮らさせることを目指して作られたホームホスピスで、先駆的な看取りの取組みの一つです。施設は住宅街の中にある民家で、我が家に帰ってきたような家庭的な雰囲気を感じさせてくれました。それは何より入居者を温かく見守る家族のようなスタッフの存在が大きいのでしょう。このような家庭的な雰囲気の中で最期を見取ることができる環境整備が全国で進むよう、取組んでまいります。

「ふるさと対話集会」（宮城県、青森県）

自民党では「ふるさと対話集会」を全国各地で開催し、自民党国会議員が地域の方々の「なまごえ」を聞かせて頂いています。10月17日に宮城県、11月6日に青森県を訪問させて頂き、参加者が日々の暮らしの中で感じている声を直接お伺いすることができました。頂戴したご意見の一つ一つを胸に刻み、くらしを守るための政策実現のために、これからも誠心誠意努めてまいります。

「たかがい恵美子 Official Web Site」リニューアル！

双方向の情報交流を目指して、「メッセージボックス」、「ご当地ナース情報」等のページを設けました。ご意見、メッセージ、情報提供等、どうぞ奮ってご投稿ください。



— 東京都看護連盟 活動報告 —

高階参議院議員の 戸山ハイツ「暮らしの保健室」訪問に随行して

23年9月21日

秋山正子氏の夢の詰まった「在宅医療連携拠点モデル事業」として、平成23年7月1日に開設された。専門職、主婦などがボランティアで支えており患者、医療福祉関係者も相談に訪れている。団地の空き店舗を利用、室内は明るくヨーロッパの雰囲気で誰でも何でも相談できる暖かな空間である。

秋山正子氏：
(株)白十字訪問看護ステーション総括所長 暮らしの保健室長



阿部俊子後援会拡大活動に参加

平成23年10月29日より3日間、あべ俊子議員の選挙区岡山3区へ出向き応援活動をしてまいりました。岡山3区は岡山県の津山地区にあり、岡山空港や岡山駅から1時間以上離れており、乗合タクシーにゆられ、あべ議員のポスターを至るところで眺めながら、現地入りしました。3区は岡山県5区の中でも最も広域で、有権者の確保が大変であり、到着直後から有権者宅の訪問をはじめ、帰路につく午後までチラシ片手に300件の訪問を達成しました。

東邦大学医療センター大森病院
南部地区 C支部 稔田幾子・宮城智賀子



阿部俊子事務所の皆さんと



平成23年11月24日～26日まで役員・地区長の3名(川島三千代・真柄久美子・宮崎純子)で津山市の総社や小田中などの地区を地図だけを頼りに一軒一軒訪問させていただきました。

反応の良いところは、あべ議員が直接会っていたケース(子供の保育園の運動会、祭り、特養に母が入院している等のイベント参加)が目立った。

平沼氏の地区で拒絶されたところもあり苦戦には違いない。

ただ、民主党の不甲斐無さを嘆き、あべ議員に入れると嬉しい声もあった。

被災地の子供と 大自然の中で遊ぶ会

(アンフィニ2011年9～12号に掲載)

平成23年7月夏3泊4日で2回 群馬県嬬恋村で被災地の子供たちを支援するキャンプにボランティアで北川副会長が個人的に参加した。子供たちは皆元気に走り廻り笑顔で楽しそうだった。

福島の子ども キャベツを収穫

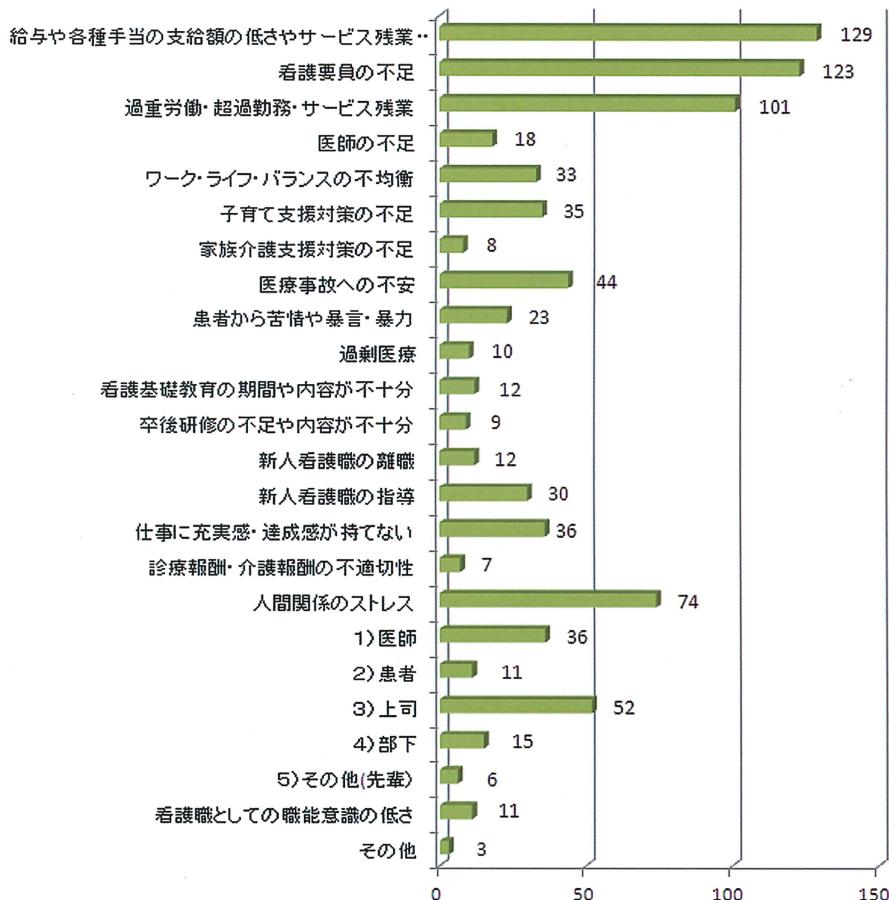
福島の子どもたち
キャベツ収穫会

東京都看護連盟 ベットサイドから政治を変える!

現場の声を聞かせて下さい

各研修会の参加者より頂いた現場の声を集計いたしました
日頃現場で最も問題だと感じている事の上位5位までは下記のようになっています

- 1. 給与や各種手当の支給額の低さや
サービス残業が多い
- 2. 看護要員の不足
- 3. 過重労働・超過勤務・サービス残業
- 4. 人間関係のストレス
- 5. 医療事故への不安



研修会月日	10月1日	11月11日	11月19日	11月28日	12月17日	
研修会名	救急時における フィジカルアセスメント	管理者・教育者 セミナー	救急時における フィジカルアセスメント	都道府県別 リーダーセミナー	看護と リンパ療法	
回答者数	78	36	71	29	31	245
1.給与や手当	50	15	43	12	9	129
2.要員不足	31	20	35	20	17	123
3.過重労働	31	11	35	10	14	101
4.医師不足	8	3	3	1	3	18
5.不均衡	10	7	5	8	3	33
6.子育て	12	4	8	6	5	35
7.家族介護	3	2	0	0	3	8
8.医療事故	20	8	3	6	7	44
9.患者から	5	7	3	5	3	23
10.過剰医療	3	2	0	1	4	10
11.看護教育	2	5	3	2	0	12
12.卒後研修	2	2	1	4	0	9
13.新人離職	3	3	2	2	2	12
14.新人教育	6	11	6	3	4	30
15.充実感	9	6	9	2	10	36
16.診療報酬	1	1	2	1	2	7
17.ストレス	28	9	21	7	9	74
18.職能意識	2	2	2	3	2	11
19.その他	0	0	2	0	1	3
	226	118	183	93	98	718

【本部と都道府県の共催研修】

【都道府県別支部別会議】

10月14日(金)・15日(土) 東京都看護協会 参加人数39名
テーマ「役員・支部長・施設連絡員・

支部ごとの獲得目標数および戦略の確定」

講 師：日本看護連盟
幹事長 石田昌宏先生



【リーダー研修】

11月11日(金) 東京都看護協会 参加人数69名
テーマ「組織で守る事故防止」

講 師：東京都看護協会
会長 鳴森好子先生



【リーダーセミナー】

11月28日(月) 主婦会館 参加人数59名
テーマ「役員・支部長・施設連絡員リーダーを対象とした
自主性を促進させるセミナー」

講 師：日本看護連盟 常任幹事 阿津公子先生



受講しての感想

- ・看護政策過程入門はとても分かり易く、活動内容が分かり今後の活動の方向性が見えた
- ・施設連絡員として何かを始めて行こうという気持ちが高まった

【OB研修会・懇親会】

10月1日(土) 京王プラザホテル42階 参加人数34名

講 演「被災地を訪問して」

講 師:日本看護連盟 会長 清水嘉与子先生



懇親会は2階「かがり」で思い出話をしながら
明るく楽しい会でした

【東京都看護連盟研修】

10月1日(土) 東京都看護協会 参加人数170名

11月19日(土) 主婦会館 参加人数123名

テーマ:「緊急時におけるフィジカルアセスメント
(基礎編) (応用編)」

講 師:杏林大学医学部附属病院
看護部長 道又元裕先生



受講しての感想

よく理解出来た 53.8% / もっと知りたい 22.2%

・講義内容は楽しく笑いあり、先生に刺激され、もっと勉強したいという声が
多く聞かれた。

【東京都看護連盟研修】

12月17日(土) 東京都看護協会 参加人数84名

テーマ:「リンパ療法について(基礎編)」

講 師:社会保険看護研修センター
リフレクソロジストリンパ療法士
辻谷洋子先生



受講しての感想

・看護とリンパ療法のつながりを学習出来た。自分たちが癒される研修だった。
・楽に実習ができた。肩こりが治った。
・免疫療法を看護に取り入れて行きたい。

ひまわり会 (OB会) 会員を募集しています

対象:

看護連盟特別会員・賛助会員の方
看護連盟のいろいろな行事に参加できます

連絡先: 東京都看護連盟**電話:** 03-3793-0270**メール:** shiburen@galaxy3.so-net.ne.jp

24年度 東京都看護連盟会員 募集しています



年会費 日本看護連盟 5000円
東京都看護連盟 5000円
合 計 10,000円

第1回締切り 24年2月20日

第2回締切り 24年4月末日(新卒者など)

第3回締切り 24年10月末日(最終回)

早めにお願いします。**東京都看護連盟 研修会のご案内**

日時: 平成24年3月18日(日) 15:00~17:00

場所: 京王プラザホテル 42階 高尾

演題*「平成24年度診療報酬の改定と看護管理」

講師*武藤正樹先生

(国際医療福祉大学大学院 教授)

演題*「超高齢社会は看護が豊かに行われる社会」

講師*石田まさひろ先生(前日本看護連盟幹事長)



さとう式リンパケア
公認インストラクター・薬剤師
木村友泉

1959年生まれ、52才。富山医科大学(現富山大学)薬学部卒業。
薬剤師として働くなかで薬に頼る医療に限界を感じ、新たなメソッドを模索して、さとう式リンパケアに出会う。現在はインストラクターとして東京で施術を行う一方、講習会などでも健康・美容のアドバイスを行っている。
<http://www.lifevectors.com>

日本看護連盟通常総会

日時: 平成24年6月15日(金) 13:30~

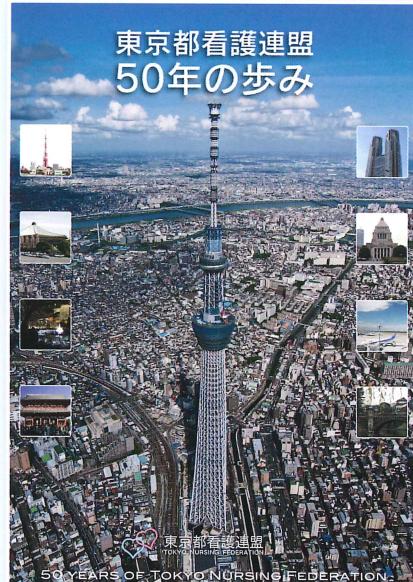
場所: 東京プリンスホテル2F鳳凰の間

東京都看護連盟通常総会

日時: 平成24年6月30日(土) 14:00~17:00

場所: 明治安田生命ホール

特別講演*木村友泉先生



「東京都看護連盟50年の歩み」が平成23年12月に、皆様のご協力で完成しました。これは連盟活動の歴史のみでなく、選挙でどう闘うか私どものこれからより良い活動への礎になるよう編集されております。

【編集後記】

東京れんめい25号は、昨年3月11日に起きた東日本大震災の復興を願い、支援内容の一部を掲載し今、東京が震災を受けた方々のために向けて出来ることを皆さんと一緒に考えていくたいとおもいます。

さらに、新しい候補者の認知度を高めて行くことに力をいれていくたいと思いますので会員のみなさまの更なるご協力をお願い致します。

【編集委員】

相談役 山寄住江
委員長 牧 洋子
委 員 中橋一子
〃 松本早見
〃 笹 節子
〃 前田 ゆき

**●事務所移転のお知らせ●**

平成23年12月1日 事務所を移転いたしました。

【移転先】

〒150-0001

東京都渋谷区神宮前1-10-34

原宿コープ別館 511号室

(住所・電話番号は同じ、部屋のみ移転)



面積は72.9mで前よりも21m(7坪)広くなりました。
窓が3方にあり室内は明るく、ゆとりを持って会議を行うことができるようになりました。